

## もう一つの宇宙、海

宇宙という遠い世界が、一方でこの日常とつながっていることを実感できる時間は、なかなか気持ちのいいものです。望遠鏡を使っ

て天体観測をしようと思わなくても、折々にプラネタリウムに足を運んだり、流星群の最盛期には夜更かしをして空を見上げるとい

方も多いのではないのでしょうか。でも一方で、子どもじゃあるまいし夜更かしをして屋根に寝ころがるのはちょっと、という大人の方もいらつしやるでしょう。でも大丈夫。夜更かしをしなくても、屋根に上らなくても、蒲郡にはとても身近に、日常の延長にある異世界に思いをはせることのできる場所があるのです。そう、海です。海こそは、夜空とならぶワンダーランド、身近に存在する異世界の入り口なのです。

子どものころ、三葉虫の子孫にちがいないと思いついていたヒザラガイが、ひっそりと息づく岩陰。イソギンチャクやヒラムシが揺らめく潮溜まり。磁石でかき回すと砂鉄がごっそり採れる砂浜。砂の

上に掃いたように、金色に光る雲母のかけらが散りばめられた波打ち際。小さな生きものの不思議な世界やキラめく鉱物の世界など、海辺にはさまざまな異世界が重なって存在しています。



ヒザラガイだけでなく、カシパンにも出会えた感動の竹島海岸…

一方で、通常は映像でしか見ることのない、ウミユリやシーラカンスなど、生きた化石がすむ深海や、およそ40億年前に生命誕生の舞台となったと考えられている、熱水の噴き出す深海底など、時を超えた世界もあります。私たちが時おり足を浸したり、散歩に訪れ

たりする波打ち際は、それらの世界すべてにつながっています。宇宙の神秘も、生命進化のロマンも、その入り口は意外なほど身近なところにあるのです。



シーラカンスの化石。生命進化を育んできた海は学びの宝庫。

## レッツ・トリップ！

日常をちよっぴり離れてみたくなったり、大がかりな旅行にも飽きたと思つたら、まずは、星座図鑑や宇宙の本を読んで、星空を見上げてみませんか。また、磯の生きものの図鑑や虫めがねを片手に、海へ出かけてみませんか。一冊の

本が、いつもの散歩や夜のひとときを、異世界への小旅行に変えてくれるかもしれません。異世界への入り口は、いつもあなたのすぐ近くにあるのですから…。(次回の楽問のススメは、竹島水族館からお送りします。お楽しみに。)

生命の海科学館

学芸員 山中敦子

## お知らせ

ほぼ毎月、博物館、水族館、生命の海科学館が発信している、「がまごおりミュージアム通信」をご存じですか。水族館の裏側探検や化石発掘ツアーなど、各館のイベント情報をお届けするだけでなく、各館の裏方が、現場の雰囲気たっぷりエッセイやくらしを彩るいろいろな情報をお伝えしています。登録は、こちらからどうぞ。

<http://www.nrc.gamagori.aichi.jp/3kan/>